

1,600万円～2,500万円の家

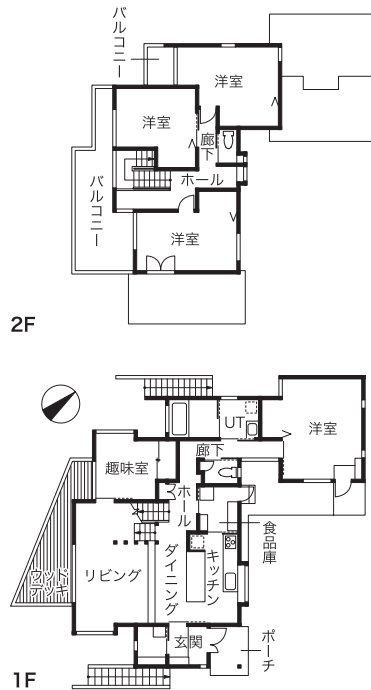
case.04

開放感

- スキップフロアで緩やかにつながる開放的な空間
- 地震で全壊した家を地盤改良し建て替え
- 眺望を取りこむピクチャーウィンドウを各室に設置



平面図



建築データ

- 構造規模 ■ 木造(在来工法)・2階建て
- 延床面積 ■ 144.08㎡(約43坪)
- 主な外部仕上げ ■ 屋根/ガルバリウム鋼板、外壁/窯業系サイディング、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:アルミ樹脂複合サッシ
- 主な内部仕上げ ■ 床/フローリング、壁・天井/ビニールクロス
- 断熱仕様 ■ <充填断熱>基礎/押出法ポリスチレンフォーム25mm、床下/グラスウールボード32kg80mm、壁/グラスウール16kg100mm、天井/グラスウール10kg200mm
- 暖房方式 ■ 床暖房・温水ルームヒーター
- ※ 造成、外構、空調は別途

家づくり集団 萩

問い合わせ先
 設計/(株)集建築設計事務所
<http://www.016.upp.so-net.ne.jp/shu/>
 仙台市青葉区二日町16-20 二日町ホームプラザビル512
 TEL.022-263-5577

施工/(株)ヒジリ建設
<http://www.hjrii.co.jp/>
 仙台市青葉区落合5-15-38
 TEL.022-392-3233

- 1.飽きのこないシンプルなデザインの外観。周辺の緑と調和する温かな色合いに。道路側から見ると1階は地面より高い位置にある
- 2.リビングには天井高いっぱいまでの大きな窓を設けた。ダイニングとの段差を生かした壁面に本棚を造作し、たくさんある本を収納。シャンデリアは以前の家から引き継いだ
- 3.リビングの床と段差を設けず、スムーズに行き来ができるウッドデッキ。目の前の眺めを遮らないよう手摺りのデザインを工夫した
- 4.視線が抜けるようにスケルトン階段を採用。デザインのポイントにもなっている
- 5.2階ホールからも眺望を楽しむ窓を設けた
- 6.庭の桜やカエデが見えるようシンクの前に窓を設置したキッチン。食品庫への動線も便利。ダイニングには長いテーブルを造作した
- 7.ダイニングには収納を兼ねたベンチを造作。大勢来客がある時も安心。ベンチ、階段など手に触れる箇所には無垢材を使用した

「依頼主も建築士もお互いにハッピーになれる家が理想です。予算に合わせますが、暮らしやすい家を作るために妥協はしません」と佐藤さん。その信念は、家の造りからも伝わってきます。

Yさん夫妻は佐藤さんが何度も足を運び、生活スタイルや慣れた動線、嗜好を聞き出してくれたおかげで、新しい家でも違和感なくすぐに快適に暮らせたと話します。

長所を生かす一方で、弱点も確実に克服しています。実は敷地の調査で地盤の軟弱さや湧水が発覚。土地を地盤改良しました。Yさんも「地震の時もほとんど揺れなくなり、安心して暮らせるようになりました」と改良の結果を実感しています。

「設計する際は、現地に立って感じたことを大切にプランニングします」と話す集建築設計事務所の建築士、佐藤寛さん。Yさん夫妻が「震災で全壊した家を建て替えた」と相談したその敷地は急な傾斜地にありました。マイナスの条件のようですが、佐藤さんは現地で感じた「眺めの良さ」を生かしたいと考え、各室の窓から美観を望めるようにしました。風の流れや採光を考え、位置はすべて現地で調整しています。リビングにはウッドデッキ越しに松林が見える大きな窓を。リビングからスキップフロアでつながるダイニングには、ベンチや椅子に座って眺望が楽しめる位置に窓があり、キッチンでは庭木を見ながら料理ができます。家のすべての部屋が、桜、新緑、紅葉、雪景色と四季の自然の景観を楽しむ特等席になりました。

長所を生かす一方で、弱点も確実に克服しています。実は敷地の調査で地盤の軟弱さや湧水が発覚。土地を地盤改良しました。Yさんも「地震の時もほとんど揺れなくなり、安心して暮らせるようになりました」と改良の結果を実感しています。

敷地の長所を最大限に生かし 四季の眺望を楽しむ家に